

MUGA TIMES

No.16

2013年 新春号

【発行日】2013年1月1日
【発行人・編集人】大久保むが



The Democratic Party of Japan

民主党

北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

迎春

初春のお慶びを申し上げます。

お陰様で、議会ごとに作成してきましたこの市政レポートも、幾度か形を変えながらも年に4回発行して4年目、今回で16回目の発行となりました。

市政の報告や現状をより分かり易く、そしてなるべく詳しく皆様へお伝えできればと心掛けて参りました。

まだまだ不十分な点もあるかと思いますが、これからも皆様へ議会の状況がお伝えできますよう、そして、より分かり易い紙面になりますように努力して参ります。

本年も変わらぬご声援を賜りますようお願い申し上げます。

1月1日 元旦

北九州市議会議員 大久保むが



無我改革で北九州を変える!!

● P.2 無我夢中の4年間

● P.2 身の丈の政治を考える

● P.3 大久保むがの挑戦

● P.4 議員定数削減について

● P.4 大久保むがさんに期待しています! (北橋健治 北九州市長 談)



平成24年北九州市議会12月定例会

平成24年12月定例会(12月3日～12月10日)が開催されました。

今議会では、市側からコムシティの工事請負契約の一部変更や、コムシティへ移転する八幡西生涯学習総合センター、市立ユースステーションの新設に伴う関係規定の一部改正などが上程され、成立しました。コムシティに隣接する黒崎西駐車場の料金を改正する条例案も示され、これまで30分150円だったものが30分100円に、さらに時間外1回750円だったものが、3時間を超えて6時間以内は上限が600円と改められるなどの案が示されました。

また、市民太陽光発電所特別会計として、5億2500万円が債務負担行為^{※1}として計上されました。さらに、地方自治法改正に伴い、政務調査費の名称が、政務活動費へと変更されました。

※1 債務負担行為とは

単年度では執行不可能な場合、翌年度以降の予算支出を前提に契約を行う行為(複数年度での工事、各年度毎に予算措置が必要)

無我夢中の4年間

快適な教育環境整備に尽力

小中学校の教室の暑さ対策で、扇風機設置を要望。
▶平成23年に市議会で一般質問。エアコン設置に膨大な予算がかかるため扇風機設置を要望。その後、平成24年度予算で小学校6年生と中学校3年生の教室に扇風機設置の予算が承認されました。

築地町の環境問題が改善へ向けて大きく前進

築地工業団地(八幡西区)の環境問題改善に向けた取り組みを行い、市議会で一般質問。
▶5年に及ぶ取り組みが実を結び、防塵ネットの設置など、市が本格的な対策に動き出しました。

「工場萌え」を北九州の観光資源に

北九州市にある工場が見える風景を活かし、これを観光名所にしていく取り組みを門司区の奥村市議とともにに行い、独自でバスツアーなどを企画。
▶市議会で取り上げ、北九州市も本腰を入れ観光資源化に成功。現在では工場萌えの街北九州として、全国的にも川崎市、四日市市などとともに全国で屈指の工場萌えの街として知られるようになりました。

障害をもつ方たちにもっと雇用を

働きたくても職場に恵まれない障害をもつ方たちの雇用をなんとか確保していきたいと市内そして障害者雇用の先進地などを数々視察。
▶障害者の視点に立って支援ができるよう要望。また、業務切り分けなどの手法を市議会で報告し、研究をはじめよう要望しました。



身の丈の政治を考える

北九州市行財政改革調査会と公共施設マネジメント

北九州市では厳しい財政状況の中、これまでに何度か行財政改革が行われてきました。
4大プロジェクトなどの大型公共事業や、バブル崩壊前後に行われた景気刺激策などに伴う起債の償還がピークを迎えた平成19年～21年にかけて、本市財政は大変厳しい危機的な状況になりつつありました。
こうした中、平成20年に「北九州市経営プラン」を策定し、平成21年からその取り組みをすすめ年間100億円の収支改善に成功し、本市の財政危機は当面回避されました。
しかし、これから中・短期的な将来を見渡せば、景気の低迷による税収の伸び悩み、さらに加速する少子高齢化やそれに伴う福祉・医療費の増大、公共施設や道路や橋、橋脚などの社会資本の維持、これらの更新に膨大な費用がかかる事が想定されており、引き続き財政事情は厳しい状況が続く事が考えられます。

事務事業評価

本市では「元気発進!北九州プラン」で行われる主要約700事業について、平成22年度からその事業の評価を行う事になりました。
事務事業評価については、私も議会の中で何度も質疑を行い、評価対象を、現在市が行っている全事業に拡大するよう要望し、実現に向けて動き出しました。しかし、評価の指標や表記の方法など、まだまだ運用しながら改善をしなければならない点は多くありますが、現在、市が取り組んでいる事業の予算・目的・進捗状況などの現状を把握し、市民の目に明らかになる事の意義は本当に大きなものがあります。

公共施設マネジメント

本市は、昭和40年中盤～50年代後半に多くの公共施設や道路、橋などの社会インフラが多く整備されてきました。建築から30～40年を超えると、多くの建築物が耐震性の強化や老朽化などの観点から、廃止、大規模な改修、建て替えなどの必要性が生じてきます。しかしながら、現状の公共事業費を確保しながらこれら施設の更新費用を捻出することは不可能になりつつあります。
北九州市には約1800の施設(延床面積約532万㎡)を保有しています。現在の水準を維持しようと総務省プログラムで当てはめて試算した場合、今後約40年間で約1兆6500億円、年間平均413億円の更新費用が発生することが想定されます。このうち公共施設に関しては、年平均295億円の更新費用の必要性が考えられ、現在の財政状況から見ると相当の財源不足が懸念されています。人口減少や少子高齢化、財政規模に見合ったサイズや適正な数に整えなおすことをしっかりと議論していかなければなりません。

市議会議員

大久保むがの挑戦

人・ボランティア・NPOなどが活躍しやすい街にしたい!

協働という言葉で表わされるように、行政とNPOなど地域団体がお互いの特技を活かす形でこれからのまちづくりは進められていかなければなりません。地域に奉仕する団体を強力に支援し、よりきめ細やかな行政ニーズに対応できる仕組みを作りたいんです!

この街にしかない魅力を伸ばす!だからこそ広報は戦略をもって行うべきだ!

工場萌え、B級グルメ、ものづくり、そして環境技術、美しい海や自然。さらには豊富でおいしい食材・・・そして極めつけはこの街で暮らす人々。
多彩な魅力をもつ本市を、強力なシティプロモーションで全国に向け戦略的に発信して都市のイメージアップを果たしていかなければなりません。
少しずつの魅力を集めることで大きな魅力を持つ都市を作りたいんです!

企業誘致は人の誘致

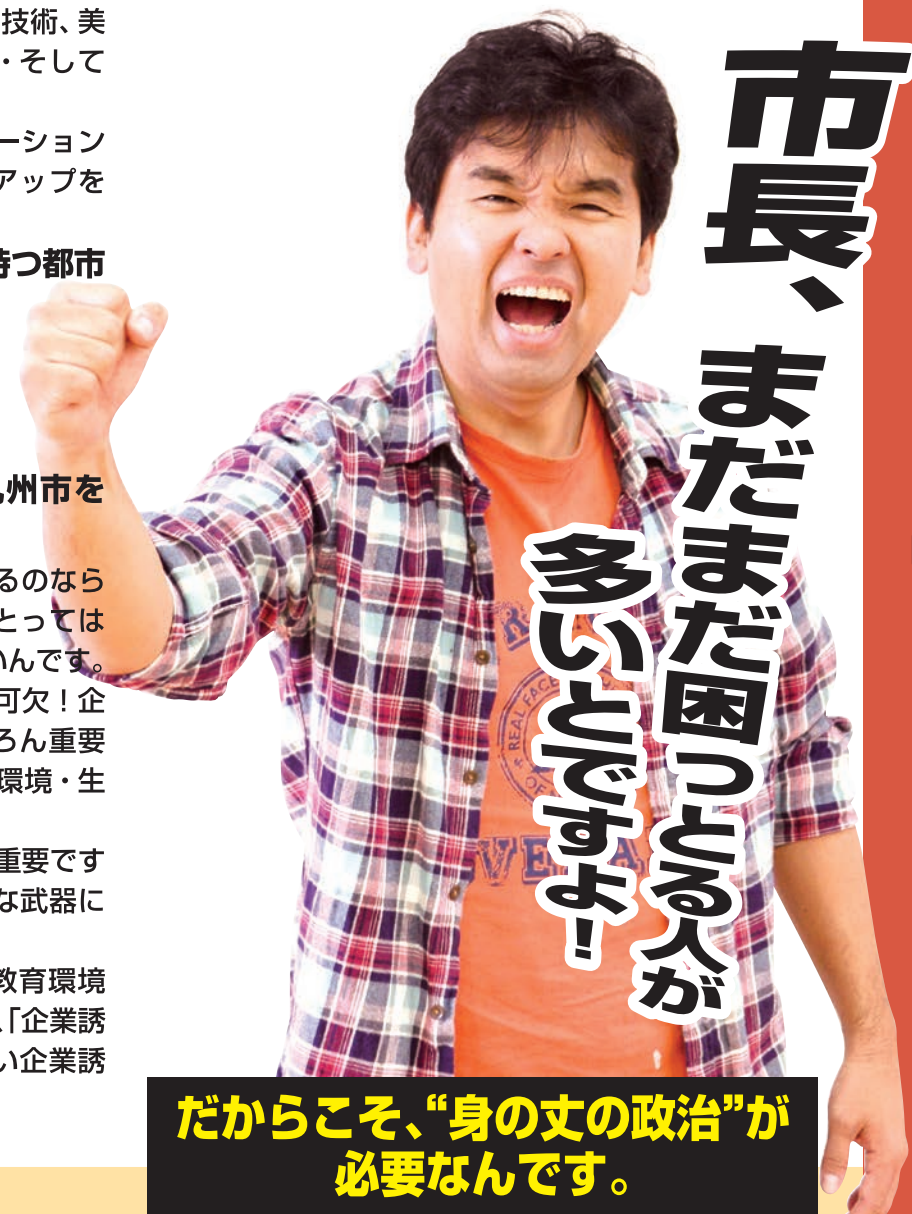
人を守り、育てることこそが未来の北九州市を強くするんだ!
人材こそが国の貴重な資源であり、力の源であるのならば、人を大事に育てること、人を守る事が地域にとっては大事な事。教育環境日本一の北九州市を目指したいんです。
さらに企業誘致に教育・子育て環境の充実是不可欠!企業誘致で様々なインフラ整備を行うことはもちろん重要ですが、進出する側にとっては、進出した先の住環境・生活環境は大変重要なもの。
子育て・教育環境の充実が市民にとっても大変重要ですが、この環境の良さは、企業誘致を行う上で大きな武器になります。
子育て日本一と言われる北九州市の子育て・教育環境を、他市にない企業誘致の大きな優位性にとらえ、「企業誘致は人の誘致」を合言葉に、他市に真似のできない企業誘致につなげる事を提案します!

コンパクトシティの重要性

人口減少・高齢化に対応するハード面の考え方として、コンパクトシティが言われています。
コンパクトシティの概念は学術的にも様々あります。これまでひたすら市域の広域化が図られてきましたが、都市の広域化は、同時に都市基盤の維持にかかる経費の増大につながります。人口減少、少子高齢化が続くことが考えられる中、人口を中心地へと呼び戻すことは、都心の活力の維持、行政コストの削減などに対して有効であるとされ、取り組みを進める自治体や商店街も現れています。
身近に買い物、病院、交通機関などが集中し、歩いて生活することのできる環境が整っている中心地は、行政の効率化だけにとどまらず、例えば高齢者世代の方々や子育てをする世代にとっても住むに適した土地と言えます。
コンパクトシティはまさに、日本における目指すべき都市像であると考えられます。

24時間保育所の重要性を考えてみる

働く職場は多様化しています。母子・父子で頑張っておられるお母さん、お父さん、子供を預ける場所がないから、働きたくても働けない方。
保育所は本当に足りているのか?待機児童について北九州市はゼロだと言っているが、本当に居ないのか?
このような状況の改善こそ、行政が手を差し伸べべき事柄なのでは!?
「市長、まだまだ困っとる人が多いですよ!」
そして、保育の現状、子育ての現状について、もっともっと皆さんの声を聞かせてください!



だからこそ、“身の丈の政治”が必要なんです。

北橋市長が唱えている「公共施設マネジメント」や「事務事業評価」「行財政改革」「コンパクトシティ」。これらはまさに本市の現状を身の丈に整えなおそうとしていると考えられます。
身の丈は“我慢をする”ということではなく、まさに身の丈。努力して上を目指すことと、無理して背伸びすることは大きく違います。これまで借金によって無理を重ねてきた時代をこれからも続ける訳にはいきません。だからこそこれまで借金で賄っていた部分は、私たちの先輩から受け継いだ“知恵”と“工夫”を駆使することで必ず補うことができるはずです!未来を俯瞰し、持続可能な財政状況に。そして「身の丈の政治」を行うことで未来に飛躍する力を蓄える。
今を生きる私たちが未来に残せる最高の贈り物は、まさに「未来にツケを残さない」という選択を行い、未来に飛躍できるチャンスをしっかりと準備することではないでしょうか!?

10・11・12月活動記録



10月

- 1日 本会議
- 2日 常任委員会
- 3日 常任委員会
- 4日 本会議 9月議会閉会
- 5日 自治労福岡県本部政治学習会
- 6日 第24回筑前黒崎宿場まつり
- 7日 小嶺地区運動会
サイクルツアー北九州
- 8日 大久保むが応援団 会議
- 9日 九州政令三都市会議
- 11日 八幡東区・西区合同戦没者追悼式
民主党福岡県連起草委員会
- 12日 市議会派国会議
- 13日 春日台地区「秋の健康まつり」
「ありがとう折尾駅舎」感謝祭
青年会議所第61回全国大会
- 14日 青年会議所第61回全国大会
陣山地区 運動会
- 19日 総務財政委員会
党派連団体交流委員会
- 21日 陣原 秋祭り
穴生地区 敬老会
B-1グランプリ北九州大会
米町保育園視察
- 23日 市議政立案支援事業に関わる講演会
- 26日 会派国会議
国際車椅子バスケットボール大会
陣山センター祭り
- 27日 大久保むが応援団 会議
北九州市立大学 同窓会
- 29日 総務財政委員会
党派連青年国民運動委員会
- 30日 コムシティ視察

11月

- 2日 築地会 ゴミ拾い
- 3日 北九州市自然史歴史博物館
10周年記念式典
まつり企業祭 開会式
- 4日 木屋瀬宿場まつり
- 7日 総務財政委員会
行財政改革調査会傍聴
- 9日 会派国会議
予算要望
大久保むが応援団 会議
- 11日 西部障害者福祉会館開館記念
- 12日 企業内保育所 視察
- 17日 折尾市民センター 文化祭
市政報告会&タウンミーティング
民主党福岡9区総支部常任幹事会
- 18日 きいたかし政治活動10周年記念セミナー
- 19日 議会報告会
- 20日 議会報告会
- 21日 北九州市総合防災訓練
- 22日 会派国会議
- 23日 陣原ひとりと暮らし年長者の集い
- 25日 民主党福岡県連大会
- 30日 会派国会議

12月

- 1日 事務所開き
- 2日 鷹見台 もちつき大会
- 3日 12月定例会 開会
民主党福岡県連パーティー
- 5日 本会議
- 6日 本会議
民主党福岡9区総支部議員国会議
- 7日 会派国会議
八幡西消防団 反省会
- 10日 12月定例会 閉会
- 16日 衆議院議員選挙投票日
- 21日 会派国会議
- 22日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
- 26日 大久保むが応援団 会議

議員定数削減について

12月定例会・議会改革協議会

12月定例会では議会改革について議員報酬の8%削減(議員一人当たり年間114万円)、政務調査費の月額3万円の削減、費用弁償の廃止、海外視察参加人数の半減などが決められました。

議員定数については、議会改革協議会において私たちの会派「ハートフル改革市民連合」と公明党が「3名削減」を主張し、自民党と共産党が「削減反対」と賛否が分かれました。

この結果、結論を得る事ができなかったため、議員定数削減に関して、改選後の協議会に委ねることになりました。

さて、去る9月議会において定数削減に関する条例案が提出され、審議の結果否決されました。更にこれに先立つこと本年3月、私たちの会派「ハートフル改革市民連合」は議員定数削減を含めた議会改革に関する委員会を会派内で立ち上げ議論を始めてきました。今回行われた議員定数削減の提案については、財政の効率化をその大きな根拠としていますが、議員定数削減の結果、市民の声が行政へと届かなくなってしまうのは本末転倒となってしまいます。

私たちの仕事は、幅広く市民の皆様の声を議会へ届け、行政へと反映させる事と、制度を条例という形で作っていくこと、さらに行政が行っている事務事業の監視を行うことにあります。

確かに人口が減少する中で、最も人口が多かった頃の議員の数をこれからも維持する事は、時代

にそぐわない選択であると思います。

現在、未来の本市に対して何人の議員が適切であるのか、例えば人口の増減によって議員定数も自動的に増減するようなルール作りを行う事がこれまでなされておらず、早急にこのルール作りに着手すべきであると考えます。

また削減された費用が何に充てられるのかを考えなければ本当の改革とは言えません。

削減＝改革という安直な発想ではなく、削減されて捻出された予算を政策立案機能の強化に結びつけるなど、真の改革を行なう方針が示されなければ、定数削減は単なるパフォーマンスと取られても仕方ありません。

私達は議会の機能を損なうことなく、無駄の削減へ向けて取り組みを行なう姿勢を今後も貫いて参ります。



民主
PRESS MINSHU

2013年1月
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL:03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp



大久保むがさんに期待しています!!

大久保むがさんとは、行政と議会というそれぞれの立場で、北九州市発展のためにオープンな議論を行い、互いに切磋琢磨してまいりました。市制50周年という大きな節目を迎えるにあたり、北九州市の明るい未来を切り拓くため、優れた見識をもたれ、豊かな経験と実績を備えた大久保むがさんに、ますます力を発揮していただけるものと期待しています。

北九州市長 北橋 健治

PROFILE



北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー 2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属、民主党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's work」理事。

<趣味> 北九州市論・ピアノ・ギター・釣り
<尊敬する人> 土光敏夫
<好きな食べ物> カレー、焼き芋、うどん、カツ丼
<好きな言葉> 少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず

大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2
Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
http://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanisi@mugamuga.net

